

[問題44～問題46は記述式] ( 解答は必ず解答用紙裏面の解答欄(マス目)に記述すること。なお、字数には句読点も含む。 )

問題44 行政手続法においては、原則として、法令に違反する行為の是正を求める行政指導(その根拠となる規定が法律に置かれているものに限る。)については、①誰が、当該行政指導が②どのようなときに、当該行政指導をした行政機関に対し、その旨を申し出て、当該行政指導の中止その他必要な措置をとることを求めることができるかと規定しているか。40字程度で記述しなさい。

(下書用)

10

15


問題45 Aの被用者Bは、外回りの営業中、営業車で自動車事故を起こし、歩行者Cを負傷させてしまった。この場合、AがCに対して、Bの加害行為から生じた損害を全額賠償したときには、Bに対して求償することができるが、この求償の範囲について、どのような見地からどのような限度に制限されるのか。判例の見解を踏まえて40字程度で記述しなさい。

(下書用)

10

15
